



# 学校だより

1月号(第04-10号)

令和5年1月31日

横浜市立高田中学校

校長 横田 由美子

TEL:591-4183

## 非認知能力

卯年は新しいことに挑戦するのに最適な年と言われています。いつも頑張りすぎると疲れてしまうので上手に自分を緩めながら失敗を恐れずチャレンジをし、ピョンピョン跳ねるうさぎにあやかって「飛躍の年」にできると良いと思います。

昨今、これからの子どもに必要な能力として「非認知能力」という言葉を耳にする機会が多くなってきました。ノーベル経済学賞を受賞したジェームス・ヘックマンの研究で有名になった言葉です。IQや学力といったテストなどで評価している能力を「認知能力」、物事に対する考え方、取り組む姿勢、行動など日常生活・社会活動において重要な影響を及ぼす能力を「非認知能力」と言って、将来の成功には「非認知能力」が大きく影響していることが明らかになっています。心理学者のジョン・D・クランボルツ教授も計画的偶発性理論の中で、個人のキャリアの8割は偶発的なことによって決定されること、そのような予測不可能な変化の多い環境の中での成功者が多くもつ力として以下の5つの「非認知能力」があることを挙げています。

環境委員さんが季節ごとに花文字を  
楽しませてくれます。今の花文字は卯です。



**好奇心 (Curiosity) : 新しいことや色々なことに興味・関心・探究心がある**

**持続性 (Persistence) : 失敗してもあきらめずに努力する**

**楽観性 (Optimism) : 何事もポジティブに考える**

**柔軟性 (Flexibility) : 柔軟な姿勢をとり予測困難な状況にも対応できる**

**冒険心 (Risk Taking) : 結果がわからなくても未知の物事に好んで取り組み挑戦する**

子どもたちには常々「世の中のことに関心をもち、互いの違いを認め合い、自分の頭で考えて、何かあってもくじけずしなやかに、明るく楽しく前向きに、あ・た・まで」と伝えていきます。教職員も、これからの時代の変化に必要とされる力を理解し意識をしながら、教科の学びはもちろんのこと、授業、学級学年活動、行事、委員会生徒会活動や部活動など、さまざまに子どもたちの学びに取り組んでいます。多くの時間を過ごすご家庭でも日々の活動や暮らしの中での非認知能力育成を共に考え前向きに意識して臨んでいければと思います。本年もどうぞよろしく申し上げます。

## 【デジタル市民をめざして】

1学年でデジタル・シティズンシップ授業を行いました。『デジタル・シティズンシップ教育』は、自分たちが暮らす良き社会を創る市民となることを当事者意識をもって学ぶ創造性を目指す世界標準の教育です。子どもたちが「デジタル技術と思考力とを身につけ、リスクを理解した上で、安心安全にデジタルの可能性を生かしている良き社会の担い手となること」を目指していきます。

### □第1回授業 デジタルフットプリント 11月24日（木）：

#### □講師： 宮川 麻子様 教育ネット（株）

正しいホームポジションを学び「タイピングツールらっこたんの公開コンテンツ開発として、高田中オリジナルコンテンツを作成（入力）する経験」をした後に、「普段使っているラインやツイッターのデータはサーバーという広い世界の中に残る」などその仕組みも学びました。サーバーに残る、というお話の際には子どもたちからは「やばい。」「終わった。。。」など、

“どよめき“が。。アンケートには、「楽しかった。」の声と「責任をもって、気をつけて扱わないといけない、意識していきたい。」などの声が多数ありました。



### □第2回授業 メディアリテラシー 12月16日（金）：

#### □講師：今度 珠美様 鳥取県情報モラルエデュケーター 国際大学 GLOCOM 客員研究員

ヘイトスピーチや表現の自由を理解し、情報を疑うだけではなく、思い込みや感情と距離を持って情報を分析することや正確な知識を持つことが必要であること、傍観ではなく、行動することで状況を変えられることなどを学び、ヘイトスピーチに対して自分はどのように行動ができるかを考えました。アンケートには、

「知らなかった、悪気はなかったではすまされない」「表現の自由は保障されてもヘイトスピーチが許されることはない。」

「皆のいろいろな考えを知ることができた。」 「自分がなにか投稿するときは嫌な思いする人がいないか考えてからしたい。」 「いじめなどと同じで簡単に同意したり見えて見ぬふりをしない。ただ実際にそのような状況になったときやめた方がいいなど言えなくても、相談するなどはしたい。」などの、様々な学びの声が伺えました。



## 【個別級合同発表会】

1月20日に、第65回横浜市立中学校・義務教育学校個別支援学級合同学芸会が港北公会堂で実施され、本校個別支援学級の生徒達は影絵の発表を行いました。この日のために年間を通して練習に励んできました。高田祭では動画による発表を行いました。今回は目の前に観客がいる生発表です。失敗ややり直しのきかないたった一回の発表ということもあり、緊張した生徒もいたようですが、その緊張感も楽しみながらそれぞれが精一杯の演技を行うことができました。全員の息がぴったりと合い、これまで以上にまとまりのある演技ができたと思います。終わった後には、多くの方からの拍手喝采。それを聞いた生徒たちの誇らしげな笑顔。最高の学芸会となりました。

(個別支援学級担任)



## 【あいさつビンゴ】

1月16日(月)～20日(金)に生徒会本部の運営であいさつビンゴが実施されました。あいさつビンゴ期間中は学級委員が各クラスのあいさつビンゴの活動を担いました。

ビンゴ結果 1位 2年4組 30 B I N G O  
 2位 3年1組 25 B I N G O  
 3位 3年2組 24 B I N G O

高田中に来られるお客様たちからは「高田中の子どもたちは気持ちの良いあいさつができますね」とお褒めの言葉をよくいただきます。ご家庭や小学校からの教育の賜物です。これからも気持ちの良いあいさつをし合える子どもたち・学校・地域でありますように。



地域の人に挨拶する。 (クラスの6割)	朝、帰り学活、号令の挨拶をする。 (クラスの全員)	他の学年の「先生」に挨拶する。 (クラスの6割)
朝、教室に入ったら「おはようございます。」と挨拶する。 (クラスの6割)	「おはようございます。」と友達に挨拶する。 (クラスの8割)	他の学年の「先生」に挨拶する。 (クラスの6割)
自分から挨拶する。 (クラスの8割)	気持ちを込めて挨拶する。 (クラスの8割)	他の学年の「先生」に挨拶する。 (クラスの6割)



## 【第3回横浜給食メニューコンクール】

山中市長、鯉淵教育長と共に(表彰式にて)

令和4年度第3回中学校給食メニューコンクールが開催されました。市内応募者数は4121名の中、高田中学校では1名が優秀賞、9名が入選となりました。本校倉田悠太郎さんは、ハマ弁メニューコンクールから引き続いて3年連続での優秀賞受賞となりました。皆さまおめでとうございます。人間の心と体を豊かにしてくれる食を大切にしていってください。



### 高田中学校 第3学年 倉田悠太郎さん

「頭が良くなる!?地産地消で脳を元気に記憶力UP給食」

【主菜】青魚(アジ)のソテー・パレサミコミニトマトソース添え

【副菜】はま菜ちゃん和豚しゃぶのごま和え

豆腐ナゲット(マスタードソース)

れんこんと長いもの梅おかかしょうゆ煮

【汁物】海苔のかきたまスープ



### 令和4年度 第3回中学校給食メニューコンクール 審査結果

優秀賞 3年1組 倉田 悠太郎

入賞 3年1組 [redacted] / [redacted] [redacted] [redacted]

3年3組 [redacted] 2年1組 [redacted]

2年2組 [redacted] 2年3組 [redacted] 2年4組 [redacted]

## 【その他】

□新型コロナウイルス感染症対策のひとつとして、全市立学校へ二酸化炭素濃度測定器(CO<sub>2</sub>モニター)が設置されることとなりました。これに伴い、本校も各クラスにCO<sub>2</sub>モニターを設置して換気に取り組むとともに、CO<sub>2</sub>濃度等をWEBページに公表しています。本校ホームページに当取組についての掲載をしますので、お子様と当取組や換気等についてお話いただければ幸いです。

【URL】<https://minnaair.com/blog/yokohama/>

おやおやの会の皆様が  
活けてくださったお花で  
春模様の職員玄関。  
ありがとうございます。

